

第140回福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議

- 1 日時 令和4年7月15日（金）17:00～17:16
- 2 場所 危機管理センター災害対策本部会議室（ペーパーレス会議）
- 3 議事

(1) 新型コロナウイルス感染者の状況等について

(保健福祉部長)

4ページ、資料1をお願いいたします。

【資料1】

7月14日現在の療養者の状況です。

入院者が221人、うち重症者が0人となっております。

入院者数は、7月12日以降、200人を上回っております。

療養者数は、合計で3,133人となっております、

5月26日以来、おおよそ1ヶ月半ぶりに3,000人を上回っております。

病床等の状況についてですが、医療機関との調整が進んだことから、確保病床数の通常時最大が、本日より743床から6床増えまして749床となります。

また、緊急時最大についても815床から821床となります。

即応病床数については、現在の感染拡大状況を踏まえまして、通常時最大の749床への調整作業を行っております。

本日時点では、これまでの642床から50床増の692床となっております。

次に、6ページ、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数は138.45人で、7月12日以降、100人を上回っております。

次に、8ページ、病床使用率は29.7%で、7月6日以降、レベル2の基準である20%を超えております。

次に、10ページ、人口10万人当たりの療養者数は170.91人で、今月に入ってから増加傾向にあり、7月11日以降100人を超えております。

次に、13ページ、保健所所在市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

南相馬市が300人に近づいているほか、福島市も200人を超え、白河市を除く各

市で100人を上回っており、7市全てにおいてレベル3の水準となっております。

次に、14ページ、保健所所在市を除く各市における、人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数です。

相馬市において6日ぶりに500人を下回ったものの、引き続き高いレベルで推移しているほか、伊達市を除く各市で100人を超えており、こちらも全ての市においてレベル3の水準となっております。

次に、15ページ、モニタリング指標です。

「入院率」(7.1%)、「人口10万人当たりの療養者数」(170.91人)、

「PCR陽性率」(21.0%)、

「人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数」(138.45人)が、レベル3、

「病床の使用率」(29.7%)「感染経路不明者の割合」(52.6%)が、レベル2、

「重症者用の病床使用率」(0.0%)、が、レベル1となっております。

最後に高齢者施設等への注意喚起についてです。

感染拡大の状況を踏まえまして、感染によるリスクの高い高齢者施設や障がい者施設等へ基本的な感染対策を徹底するよう、昨日、改めて通知しております。

説明は、以上です。

(教育長)

学校関係ですが、県内での感染が拡大傾向にある中、学校においては夏季休業を迎え、今後、移動や交流の機会が増えることから、7月13日、県立学校及び市町村教育委員会に対し、休業期間中の感染症対策の留意点等をまとめた通知を発出し、期間中の部活動や課外活動における対策等について周知するとともに、家庭内においても基本的な感染対策を継続して行うよう依頼いたしました。

今後とも熱中症対策を講じた上で、感染症対策を徹底してまいります。

(こども未来局長)

感染者数が再拡大に転じていることに加え、これから夏休みを迎えることから、市町村に対し、特に放課後児童クラブにおける感染拡大防止対策の徹底を管内の施設管理者等に周知するよう7月11日に通知をいたしました。

具体的には、小学校と連携し、利用可能である場合は、より広い教室や体育館(図書館、

校庭) 等学校施設の活用を進めること。

また、施設での対応として、

- ・ 熱中症に注意をしながら換気を行うことや場面に応じたマスクの着用を適時適切に判断すること
- ・ 密集や近距離での活動を避け、時間や場所を分散すること
- ・ 基本的な感染対策や子ども・職員の体調管理を徹底することなど、

留意すべきポイントを示し、改めて感染防止対策の徹底を依頼したところであります。

加えて、児童福祉施設等に対しても、児童・職員の体調管理や、屋内処遇の際の職員のマスク着用など、感染防止対策の徹底について7月14日に通知いたしました。

引き続き、市町村等と連携を図りながら、児童関連施設における感染拡大の防止に努めてまいります。

今後とも熱中症対策を講じた上で、感染症対策を徹底してまいります。

(2) 新型コロナワクチンの接種状況について

(病院局長)

17ページ、資料3をお願いします。

【資料4】

1 接種実績につきましては、7月14日時点で、3回目接種の回数が、1,282,514回、全人口に対する接種率は68.9%となっております。

また、4回目の接種回数は61,483回となっております。

資料中段の囲みの部分、想定される7月末累計の対象者、約153万2千人に対する3回目の接種率は83.7%となっております。

なお、5歳以上11歳以下の小児の接種率は、1回目が38.3%、2回目が35.1%となっております。

次のページをご覧ください。

ワクチン接種の取り組みについてです。

12歳から17歳までの方を対象とした3回目接種を先週に引き続き明日の土曜日に会津若松市、郡山市において実施します。

また、18歳以上の方を対象としたノババックス社ワクチンによる、1回目から3回目接種を県内4地域で実施しております。

なお、ノババックス社ワクチン接種の郡山市の15日と22日実施分は事前予約で定員に達しました。

引き続き、ワクチン接種が進むよう、市町村と連携し、しっかりと取り組んでまいります。

説明は以上です。

(3) その他

(保健福祉部長)

県内で感染が再拡大していることから、幅広く県民に感染対策を呼びかけていく必要があります。

そこで、いわき市出身の武田(たけだ)玲奈(れな)さんが出演するCMを作成いたしました。

来週7月18日(月)より、県内の民放テレビ局、民放ラジオ局、郡山駅及びいわき駅の駅前ビジョンで放映予定です。

広告動画4本を準備しましたので、御覧いただければと思います。

※武田玲奈さんが出演するCMは県のホームページに掲載しております。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/covid19-portal/covid19-attention-mov2.html>

(金光教授)

明日から3連休の方が多いたって思っております。

現在、特に移動制限などはありませんので、(移動するのは)自由だろうと思いますが、しかしながら、先ほどから言いますように全国的にもう流行が広がっているということでもあります。

ですから、もちろん楽しんでいただいても結構ですが、休み中にお酒を飲み過ぎて、大勢で入り乱れてしまったとか、食事中に大声を上げてしまったということになりますと、連休明けに会社あるいは学校に戻るときにすごく不安になります。

「感染したらどうしよう」あるいは「会社などで広げたらどうしよう」と不安になってしまいますので、「この自分の行動だったら感染するはずがない」という自信を持って復帰できるよう、十分感染対策に御留意いただきたいと思います。

(知事)

はじめに、県民の皆様への命と健康を守るため、感染症対策や医療の現場で献身的に御尽力いただいている医療関係者の皆様に、改めて、深く敬意と感謝の意を表します。

また、感染拡大を防ぐため、長期間にわたり、御理解、御協力を頂いている県民の皆様、事業者の皆様に、御礼申し上げます。

全国における1日当たりの新規陽性者数は、前の週の同じ曜日を大幅に上回る日が続いており、昨日(14日)は2日連続で9万人を超えたほか、九つの県で過去最多を更新するなど、感染が急激に拡大しています。

本県においても、7月に入ってから前の週の同じ曜日を大きく上回る日が続き、病床使用率も30%に迫る水準に高まり、医療提供体制への負荷が日に日に増してきています。

本県では、6月末に初めてオミクロン株B.A.5系統が確認されましたが、今月11日から14日までに行われたゲノム解析では、感染者に占めるB.A.5系統の割合が13%と、置き換わりが進みつつあると考えられます。また、今週、新たにB.A.4系統も確認されました。

このように、1日当たりの新規陽性者数が急激に増加し、感染が再拡大していることから、本県は「第7波」に入っていると考えられます。

こうした状況を踏まえ、県民の皆様には基本的な感染対策を徹底し、感染しないよう注意していただくほか、発熱等の症状がある場合には外出を控え、早めに受診すること、また、陽性になった場合は、職場や学校だけでなく、接触した方に連絡をとり注意を促すなど、感染を広げない対策をお願いします。

感染不安のある方や、帰省等で御高齢の方と面会する予定のある方は、積極的に無料検査を受けましょう。

さらに、陽性になった場合に備え、自宅内での生活動線をどのように分けるかを事前に確認するとともに、数日間分の食料、薬、消毒用品をストックしておくようお願いします。

一方で、今年は例年よりも梅雨明けが早く、厳しい暑さが見込まれています。

熱中症を予防するため、暑い時には不必要な外出を避けたり、エアコンを積極的に使用して暑さをしのぐことが重要です。

また、感染を防ぐには換気が重要ですので、エアコンを使用する場合は、適宜、窓を開けるなど換気を行いながら涼みましょう。

さらに、屋外で2 m以上距離をとれる場合や、屋内で人との距離が確保でき、会話をほとんど行わない場合は、マスクを外すようにしましょう。

感染拡大を防ぐため、感染対策と熱中症の予防を両立しながら、今年の夏を乗り切りましょう。

全国的に感染者数が増加しており、本県においても感染が急激に拡大しています。

明日から3連休となり、多くの学校で夏休みも始まることから、旅行や帰省、飲食の機会が増えることが想定されますので、感染を拡大させないためにも、基本的な感染防止対策の徹底をお願いします。

また、ワクチンを接種することで、発症予防や重症化予防などの効果が期待されています。このため、まだ接種がお済みでない方は、ワクチン接種を御検討いただき、早めの接種をお願いします。

県といたしましても、CMを通じた周知を強化するとともに、診療・検査体制を拡充し、即応病床数を増やすことなどにより、感染拡大防止と医療提供体制の強化に努めてまいります。

現在のように、全県で感染が拡大している状況においては、県民お一人お一人が感染対策に取り組んでいただくことが重要です。皆さんの引き続きの御協力をお願いします。

各部局においては、引き続き、県民の皆様の命と健康を守るため、迅速・的確に対応を進めてください。